

学校 教育 目標	寺尾の教育目標『わくわく ぼかぼか きらきら』 【知：わくわく】 「よく遊び、自ら学ぶ」子を育てます。 【徳・体：ぼかぼか】 心、体、命を大切にし、自他ともに尊重する子を育てます。 【公・開：きらきら】 ひと・もの・ことと豊かにかかわり、地域や学校を大切に育てます。				
	創立 71 周年	学校長 中山 正之	副校長 宮崎 大	2 学期制	一般学級：19 個別支援学級：5
学校 概要	児童生徒数： 617 人 主な関係校： 生麦小学校 岸谷小学校 生麦中学校 寺尾中学校 錦台中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<持続可能な社会の創造に貢献しようとする力> <言語能力>	生麦中学校 岸谷小学校 生麦小学校	○学習や生活のよい習慣を身につけ、自分の力を伸ばそうと努力する子ども ○「まち」と関わりながら学び、「まち」を大切に育てる子ども ○児童や生徒が主体的に取り組む授業実践の推進 ○「岸谷祭」「旧東海道祭」など、「まち」で開催される行事への児童生徒参画機会の設定 ○中学校ブロック内小学校を招く「文化・スポーツ交流会」(生麦カップ)の実施 ○小中合同授業研修会(道徳)と小中一貫教育指針協議会の実施

中期 取組 目標	<p>【わくわく】一人ひとりの思いを大切にしながら、主体的な学びを充実させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通して、子どもがわくわくしながら自ら学習に取り組むことができる授業づくりを推進します。 ・自分の考えを発信したり、伝え合ったりしながら、豊かな言語能力を身につけることができるようにします。 <p>【ぼかぼか】自他の心や体を大切に育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい気持ちで、相手の言葉を受け止めて聞いたり自分の思いや考えを発信したりする力を育てます。 ・挨拶の大切さに気付き、進んで挨拶することができるようにします。 ・安心安全に教育活動が行われるようにします。 <p>【きらきら】生涯にわたって生き生きと自分のよさを発揮する力を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひと・もの・ことと豊かにかかわり、協働して問題解決する力を育てます。 ・地域と関わりながら、地域や学校を大切に育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業づくり	①子どもがわくわくしながら自ら学ぶことができる年間の単元を計画する。②子どもが思いや考えを表現し合うことができる力を教育活動全般で育成する。③本時のめあての確認と振り返りの時間を通して、学んだことの定着を図る。④様々な言語活動や読書活動を通して、子どもが言葉と向き合い、豊かな言語能力を身につけることができるようにする。
担当 学びづくり部会	
徳 道徳教育 人権教育	①道徳科や人権週間を中心に、教育活動全体を通して豊かな心の育成を推進する。②誰もが安心して豊かに学校生活を送ることができるよう、あたたかな雰囲気の中で、他者理解や自己理解を深めることができるようにする。③学校内外でのあいさつの取組を推進し、居心地のよい学級経営をめざす。
担当 道徳部・人権担当	
体 健康教育	①委員会等で子どもの意見を取り入れながら、体を動かす楽しさを味わう機会を設定し、体力の向上につなげる。②健康の保持・増進をめざし、学校保健委員会等を通して子どもが自ら自分の生活を振り返り、改善しようとする意欲を育てる。③給食を中心とした学校教育活動全体で食育を実践し、食の大切さを自ら考え実践していくことができる力を育成する。
担当 体育部・食育部・保健部	
公 地域学校 協働活動	①教育活動全般において子どもたちが地域とつながることを大切に、地域の方の思いに触れ、地域や学校を大切に育てる。②地域コーディネーター等との連携を密にし、地域のよさを教育活動に生かしていく。③協働して問題解決する場面を教育活動全般において取り入れ、子どもたちの問題解決能力やコミュニケーション能力の向上を図る。
担当 環境づくり	
いじめへの対応	①いじめ防止基本方針を職員で共有し、未然防止のための学級風土作り等の意識を高める。②いじめ防止対策委員会を定期的実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。③実態に応じたいじめ防止研修を実施し、全教職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、YPを含めた児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。④子ども会議や児童会の活動を通して、児童自らがいじめについて問題意識をもつことができるようにする。
担当 生活づくり部会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①メンター研や校内研修、AB研など様々な場面を通して、学び続ける教職員をめざす。③重点研究等を通して、子どもが認め合つとともに高めあう支援のあり方などを学び、学級経営や授業づくりに生かす。③ICTを効果的に活用し、業務を効率化し、働き方改革の推進につなげる。
担当 教務部	
特別支援教育	①特別支援教室(キラキラルーム)・国際教室の整備や活用を進める。指導内容は学習の習熟とともにそれぞれの子どもの自己肯定感にアプローチするようにしていく。②特別支援教育コーディネーターを中心に、児童理解を深め、UBデザインやデジタル教材等を活用して、「誰一人取り残さない」教育の実現に努める。
担当 生活づくり部会	
安全教育	①月ごとの避難訓練等を通して、児童が自ら自己の安全について考え、様々な場面で安全に学校生活を送る意識を高めることができるようにする。②研修等を充実させるため、職員の役割や体制について、必要に応じて即座に改善する。③安全点検や日頃の整頓・清掃等を通して校内環境を整え、安全な日常生活を送ることができるように努める。
担当 安全・環境部会・保健部	
児童生徒指導	①学校のスタンダードについて随時検討し、職員や児童で共通理解を図る。②職員会議等で、児童理解について扱い、特別支援コーディネーターを中心に対応について話し合い、共通理解を図る。③「Y-Pアセスメント」を活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実現する。④不登校児童・保護者の思いに寄り添い、ICTも活用して学びが継続できるようにする。
担当 生活づくり	
担当	